

新学会誌を発行するにあたって

日本結晶成長学会誌編集委員長

平松 和政

本号より日本結晶成長学会誌が新しくなりました。新しい学会誌の記念すべき第1号を発行するにあたって、編集委員長よりご挨拶申し上げます。学会員にとってより親しみやすい学会誌を目指して、編集委員会では学会誌編集に関してさまざまな見直しを行いました。

1. わかりやすい学会誌作りを目指して

内容的にもわかりやすい学会誌作りを目指すために、投稿規程・投稿要項の見直しを行いました。特に大きく変更された点は、アブストラクトと図表の説明を英語から日本語の表記に変更したことです。これには賛否両論がありましたが、全ての会員にとってわかりやすく読みやすい学会誌作りを目指すためには、分かりやすい言葉で結晶成長を語ることが必要であることを考え、アブストラクトと図表の説明を英語から日本語の表記に変更しました。

2. 学会誌のA4化、表紙デザインの変更

2004年は編集業務委託先の変更と学会創立30周年に伴い、学会誌の体裁の変更を行うことになりました。学会誌のA4化、表紙デザインの変更により、従来の学会誌に比べ親しみやすい学会誌にしたいと考えています。本学会は結晶を扱う学会であることを意識して、表紙にはその号を特徴付けるような結晶などの写真を毎号掲載します。また、これまで件数が少なかった広告の掲載を積極的に行い、その利益を学会に還元するだけでなく、学会員や賛助会員にとって有益な学会誌になるよう考えています。

3. 学会誌編集業務委託先の変更、編集プロセスの見直し

2004年1月より学会の事務業務及び学会誌の編集業務の委託先が(有)ワーズに変更になりました。事務作業と編集作業の一体化によりコストの削減、学会誌のレベルアップが期待できます。

また、編集業務の委託先の変更に伴い、学会誌の編集作業プロセスの見直しも行いました。ワーズには学会誌の印刷業務の他、原稿の執筆依頼や受け取りなど、編集上の事務的な作業も担当していただくことになり、編集委員は本来の任務である小特集の企画に専念することが可能になりました。

このような学会誌編集の見直しを行うにあたって、有益なご意見、ご討論をいただきました、大鉢 忠前会長をはじめとして、理事会、編集委員会、(有)ワーズの皆様に厚くお礼申し上げます。